

窓口支援事例 【神奈川県 知財総合支援窓口】

企業情報 有限会社ノースウッズ

所在地	神奈川県横浜市青葉区		
ホームページ URL	-----		
設立年	2015年	業種	製造業
従業員数	2人	資本金	300万円

企業概要

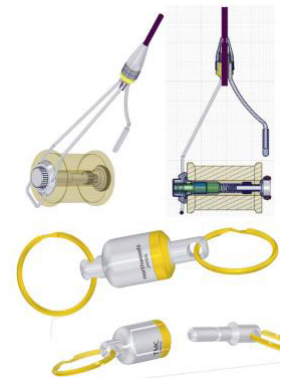
ノースウッズは釣り具関連商品の企画・設計・製造を主な事業としておりますが、特にフライフィッシングにおけるタイイングツールやアクセサリーの自社企画、設計開発、量産をして参りました。2015創業より約2年が経過しましたが、これまでに12モデルの製品を開発し販売を行って来ました。

国内の釣り具業界におけるフライフィッシングの市場は小さく隙間産業の感がありますが、欧米においては意外と大きな市場があります。2015年に偶然、フライフィッシング関連製品販売が主力の釣り具メーカー（株）ティムコ社に当社試作品が目にとまった事より、以後OEM受注生産を受け、釣り具各種の商品開発及び量産を行っています。



自社の強み

これまで趣味として30年以上続けて来たフライフィッシングやその他各種釣りの経験を基に、より合理性、且つ、デザイン性に優れたツールやアクセサリーを世の中に提供してゆく事を基本方針に自由な発想から商品開発を行っています。構想からCADによる設計、3D-CADによるイメージデザイン図作成、顧客に対し3Dイメージ画像による商品提案から各社協力工場による試作品製作及び量産までの一連の各工程を一元管理することで製品の商品化を短期間に具現化できること、また、商品の不具合に対する改善策、機能改善のための仕様変更等、小回りの利く企業を目指しています。



一押し商品

当社開発商品”アジャスタブルマグネットボビン”は従来のボビンホルダーには無かったスレッドテンションの可変機能を2個のネオジウムマグネット同士の吸着力を利用することで実現しました。

フライのタイイング中に片手で自由にスレッドの巻き強さを調整が可能となり、より効率的に精巧微細なフライの作成を実現しました。現在、(株)ティムコ社を販売元に、国内及び米国、欧州と世界各国にて販売中です。

また、現在、マグネットを使用しないランディングネット（タモ用）”イーザーネットリリーサー”を開発し、従来のリリーサーの欠点である磁力による電子機器への悪影響や溪流での砂鉄吸着、それに伴う保持力低下を解決しました。当社製品はスプリングの伸縮力を利用することで、マグネットを使用せず、メカ的に自動離脱、衝撃緩和機能、離脱時に金属音を発するといった機能を実現しました。



最初の相談概要

釣りに用いるモノフィラメント（釣糸）を結束する便利な治具（アジャスタブルマグネットボビン）を考え、開発したので、それを特許出願したいとして、平成27年1月に相談に来られたのが最初です。その時は先行技術を調べることが必要であることを説明し、先行技術調査を特許庁のデータベースを用いて調べる方法について説明しました。このときはまだ起業していないため、自宅での調査をお願いしました。

その後の相談概要

その後すぐに起業し、この発明である治具の先行技術調査を本人が済ませ、それをもとに本件発明と公知品との差異について議論し、記載すべき特許請求の範囲を明確にして、その過程で専門家の意見も聞き、特許出願を済ませ、その後審査請求を経て、拒絶理由もありましたが、無事にクリアし最終的に登録査定とすることが出来ました。

窓口を活用して変わったところ

特許を取ってビジネスをやりたいという意欲が最初で、考えたものが権利化出来、かつ、便利であることが認知されるようになりましたが、特許を取る意味があることが改めて実感できたと思います。ビジネスで商品を売る際に排他権のある特許を保有することがビジネス上自信に繋がると思います。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

前記：一押し商品に記載しました”アジャスタブルマグネットボビン”と”イージーネットリリーサー”、共に知財総合支援窓口にて意匠登録、特許申請の相談に乗って頂きました。全く特許申請や意匠登録の知識が有りませんでした。相談に何う度に親身に貴重なご助言、指導を頂き大変助かりました。せっかくのアイデアですから、是非知財化による商品の付加価値向上に活用されることをお勧めしたいと思います。

窓口担当者から一言（氏名：広島 政広）



本案件は釣り人にはすごく便利であると実感できる治具ですが、最初のヒアリングでは良さがわからず、徐々に便利さがわかるような製品の特許出願でした。窓口を利用する際、商品の良さがなかなか伝えることが難しい場合もありますが、担当者に発明の良さを認識させることが対特許庁へのアクションに有効になると思います。